

★身体ワークとマインドワークを融合した全く新しいスタイルの研修プログラム★

SAMURAI研修シリーズ

入門講座 ～現代のSAMURAIの基礎をつくる。強い組織を実現する～

本当に強い組織、 作れていますか？

中堅リーダークラスの
個の確立と組織の和で、
経営の土台を作ります

日本古来の武術の知恵を応用し、強い個人、強い組織を実現する研修

こんな状況、起こっていませんか？

● 中堅社員が伸び悩んでいる

- ・マネジャーを支え、組織の中心となって欲しい中堅社員の意識が低い。個人的には与えられた課題を無難にこなすものの、組織全体のことになると非協力的。反体制とまではいかないが、積極的に事業に関与する姿勢が見えないし、出世しようとする意欲も乏しい。

● ほどほどの仕事で何となく結果を出す、のんびりした職場

- ・怒られない程度に、ほどほどの仕事をして、なんとなく結果を出して、適当なところで切り上げる社員が多い。そのような社員に管理職も強く言えないどころか、管理職がなんとなく働いている。
- ・世界の情勢が大きく変わり、自社を取り巻く環境も厳しさを増しているが、社内の様子はのんびりしたまま。自分で行動を起こさない“ゆでガエル”状態になっている。
- ・仕事のモチベーションは仕事でしか上げることができないことを忘れ、仕事に真剣に取り組む姿や白熱した議論が影をひそめ、耳当たりのいい優しい言葉しか聞こえなくなってしまう。

● チャレンジ・競争という言葉が浮いてしまう

- ・今までの仕事を踏襲することだけしか考えず、新しいことにチャレンジしたり、自ら変化を起こし困難な仕事に取り組む社員がいなくなった。チャレンジ・変革、競争といった言葉が浮いてしまい、癒し・バランスといった言葉にしか反応しない。



組織が危機的状态に陥っている

企業業績・活性化に大きな影響を与えている
中堅リーダークラスを強化することで、
組織風土を変え
業績を大きく改善することが可能です。

なぜ、中堅層が課題なのか

実は組織を動かしているのは、社長でも、役員でも管理職でもなく、「中堅社員」なのです。

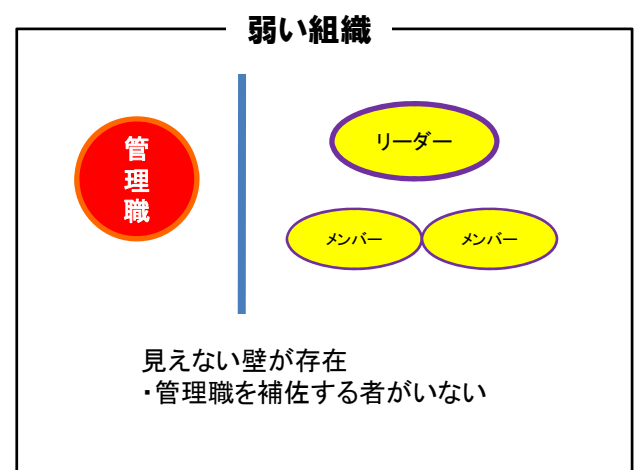
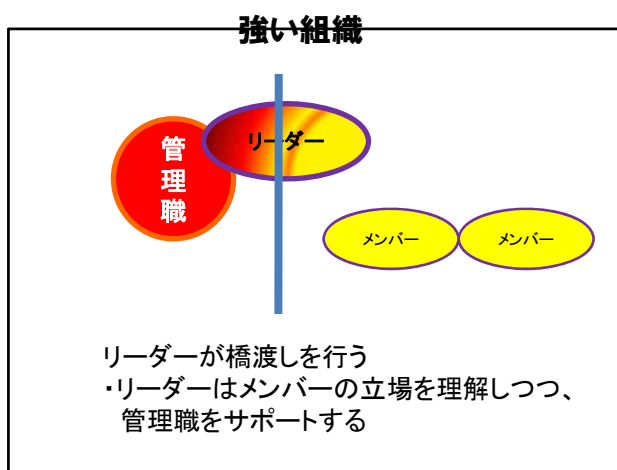
	管理職	中堅リーダークラス
立場	経営サイド ・社長や役員から直接話を聞くことが多い(指導や叱責も) ・管理職としての意識付けされている	従業員サイド ・社長や役員から直接話を聞くことが少ない ・従業員としての意識しかない
日常業務	会議や出張、その他の管理業務のため、現場を離れることが多い	現場を離れることは少ない
メンバーへの影響力	人事考課を行うなど、フォーマルな影響力は持っている	日々の行動や考え方など非公式な影響力は大きい



現場の雰囲気をつくりだしているのは、リーダークラス

管理職が不在の時、職場でどのような会話がなされ、どのように仕事に取り組んでいるのか把握していますか？

■ 強い組織と弱い組織



リーダーを強化し、組織を変えるポイント①

キーワードは“和する”

“和する”とは・・・

“和する”とは、組織の構成員一人ひとりが全体力を発揮し、お互いに個性や強みを認め合い、弱みを補いながら、高いレベルで調和し、切磋琢磨することで組織をより高い次元に持っていける状態のこと。

“和する”組織は・・・

いざという時に組織の結束を高め、想像を超えた力を発揮することができます。そのような状態を経験することで、個人の力も大きく伸ばしていくことができます。

“和する”は組織の力を大きく伸ばす 最大のポイントです

なぜ“和する”状態がつかれないのでしょうか？

現代の社会では、人は人・自分は自分という間違った個人主義が蔓延しています。
また、KYという言葉に表されるように、できるだけ人とは違うことはしたくない。という風潮があります。

しかし、最も大きな原因はリーダークラスが自分のことだけを考え、組織を強くする“和する”ことに関心がなく、“和する”ことが自分の能力を成長させてくれることを体感したことがない。ことにあるのです。

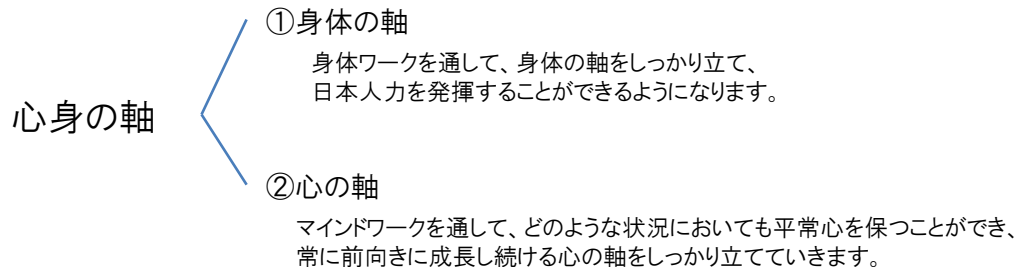
SAMURAI研修シリーズでは 武道の技を使った身体ワークで “和する”ことで生まれる力・成長実感を 自分の身体で体感します。

<SAMURAIにおける“和する”とは>

SAMURAIは組織が和していなければ、戦に負け、それは死を意味します。そのため、ひとり一人のSAMURAIは日頃から鍛錬を積んで武術を磨き、歴史・伝統を学び精神性を高めています。日々の地道な活動を通してしっかりした基礎を作り上げています。
戦いでは一人の怠慢が組織全体を崩壊に招くことを知っています。ですから、お互いに切磋琢磨し、より高いレベルに引き上げていくことができます。
これがSAMURAIの“和する”です。

リーダーを強化し、組織を変えるポイント②

キーワードは“心身の軸”



“身体の軸”とは・・・

上虚下実の状態をつくり、丹田を充たすことで感じる事ができる、天から地につながる1本の線のことをいいます。身体の軸を意識することで、余分な力が抜け、自分の身体が持っている本来の力＝全体力、を使うことができるようになります。

**“全体力”を使うことで
大きな力を発揮することができます。**

“心の軸”とは・・・

判断や行動の拠り所になっているものです。入門講座では心の軸を3つに分けて明確にしていきます。

- ① 心の軸の土台 ……過去の行動を振り返り、「やり切ったこと」「困難を乗り越えたこと」「継続していること」をあぶりだしていきます、このような経験が豊富な方は自信を取り戻し、新たなチャレンジ意欲をかきたてます。逆にこのような経験がない方は、行動することの重要性に気づき、行動を変えるきっかけになります。
- ② 心の軸を成長させるもの ……これから手に入れたい状態、実現したいことをリストアップし、充実度・満足度・困難度の観点から本当に目指す状態を明らかにしていきます。動機付けを高めることで、行動する大きな原動力を生み出します。
- ③ 心の軸の核 ……心の軸の中心にあるもの。過去の行動もこれからの行動も“心の軸の核”が作っていきます。これからの成長を阻害するものが見つかった方には書き換えていただき、成長意欲を生み出していただきます。

**SAMURAI研修シリーズでは
心身の軸を立て
前向きな行動を促します。**

リーダーを強化し、組織を変えるポイント③

キーワードは“快”

“快”な感覚とは・・・

「身体が軽い」「頭がスッキリしている」「楽しい」「集中している」・・・

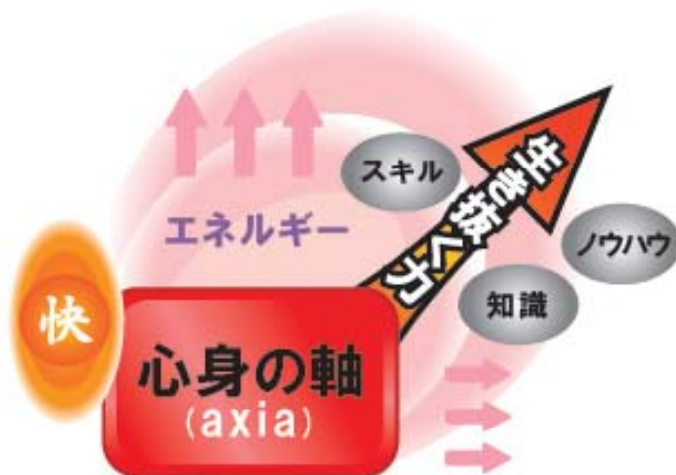
“快”な感覚が続くと・・・

「時間を忘れ熱中する」「楽しくなる」「アイデアが浮かぶ」「頭がよく回る」「前向きな気持ちになる」「力が満ち溢れる」「笑顔になる」「ワクワクする」「成長意欲がわく」「周りの人に協力したくなる」「色々なことに興味がわく」

“快”は社員が自発的に動き出すポイントです

“快”な状態が生み出す強さ

一人ひとりが心身の軸を立て、和する強さを発揮する組織に変わることは簡単なことではありません。今までの行動を見つめ直し、場合によっては今までの甘さを突きつけられることになります。その際威力を発揮するのが“快”の感覚です。自らを高い目標に導き、新たな成長を目指すことで“快”の感覚を自ら作り出す技を身に付けておくことで、自ら変革する意欲を生み出し、生き抜く力を発揮することができるようになります。



・心身の軸を整え、現状の見つめ高い成長を選択することで導きだされる“快”感覚を身に付けることで、前向きなエネルギーを生み出していくことができます。

・生き抜く力が生み出されることで、今まで学んできた知識やスキル、ノウハウを生かし、さらに新しく身に付けていくエネルギーも生まれます。

リーダー強化プログラム概要

1日目

時間	プログラム
午前	SAMURAI力、日本人力とは
	自分の身体の全体力を感じる
午後	組織の力を最大にする(和する)
	和する強さを身体で感じる
	やり切ったことを考える ・個人の力の土台
	振り返り

- ①リーダーが組織の力を発揮するとどうなるのか、SAMURAIの技で体感しながら理解を深めます。
・自分の身体で素直に感じるので、否定することができません
- ②身体が持っている全体力を発揮することで、今までどれだけ自分が力をセーブしてきたのか、そのリミッターを外すことで、どんなに力が発揮できるのかは実感できます。
- ③その上で、今まで仕事に100%意識を集中していなかった現実を捉え、改めて仕事の勢力を傾けるモチベーションを高めていきます

2日目

時間	プログラム
午前	1日目の振り返り/朝の所作
	心の軸を成長させる
	心と身体つながり
午後	心の軸の核
	和するを実現するステップ
	強い和するを実現する
	2日間の振り返り

- ①これから仕事で何を成し遂げたいのか、そのためには何が必要なのか。身体ワークと組み合わせることで、押し付けることなく、心の底から湧き上がるエネルギーを感じることができます。
- ②本来個人の原動力になっているものを見つめなおし、行動の足枷になっているようなものが見つかれば書き直しをしていきます。
- ③個人の仕事へのモチベーションを高めた上で、改めて強い組織を実現するために何ができるのかを考えます。

* 上記は標準プランです。企業様の課題に合わせ、プログラムカスタマイズを行います。

■ 経営者、役員向け体験会

導入にあたってご検討をいただくために、3時間～4時間程度の体験を実施いたします。